

けもの掲示版

除草作業省力化の検証結果

除草剤と抑草剤を使用した場合、電気柵下の除草効果が1か月程度持続しました。



検証結果をウェブで確認

除草剤散布による電気柵下の除草作業省力化の検証を行いました



左から岡田拓実さん(北興化学工業株式会社)、泉田重章さん・佐藤秀一さん(幾世橋)、松本伸一さん(刈宿)、加藤修さん(立野)

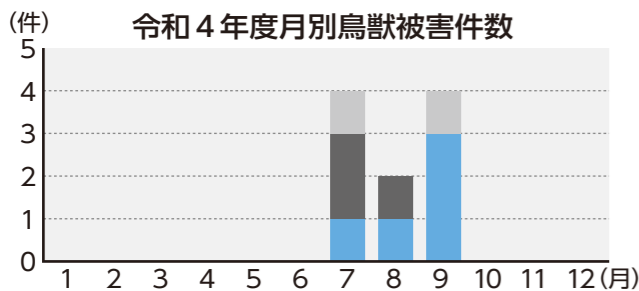
令和4年浪江町営農者向け鳥獣被害アンケート結果から、「電気柵下の除草が大変」という回答が複数ありました。

そこで今年度、除草剤散布による電気柵下の除草作業省力化の検証を実施しました。



散布目合わせ会実施の様子

令和5年鳥獣被害アンケート調査の結果



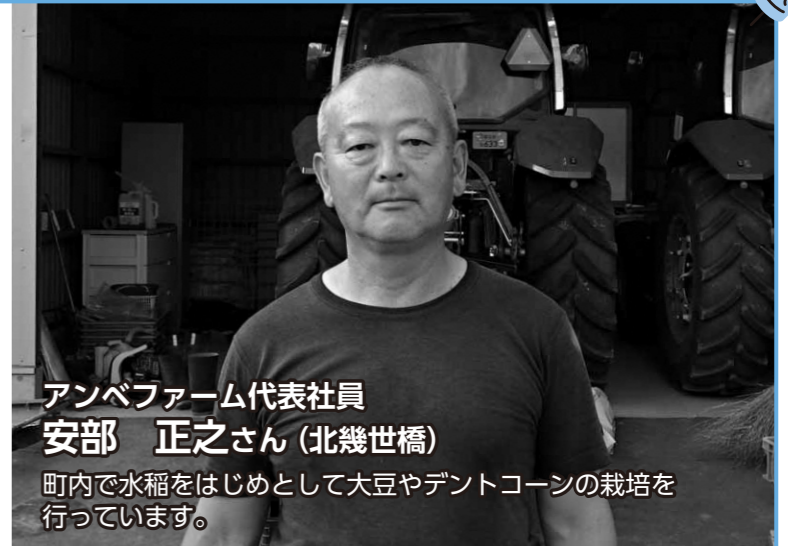
調査結果をウェブで確認

令和5年浪江町営農者向け鳥獣被害アンケートの結果集計が完了しました。

INTERVIEW

みんなの鳥獣対策

浪江町の地域課題「鳥獣被害」を防ぐ、軽減させるため地域で取り組む鳥獣対策を紹介します。



アンベファーム代表社員 安部 正之さん(北幾世橋)

町内で水稲をはじめとして大豆やデントコーンの栽培を行っています。

アンベファームでは被害状況や痕跡を確認したうえで、効率的な農業を実施しています。

■いつから、どんな被害がありましたか

以前はイノシシによる畦畔の掘り起こしや食害の被害がありました。北幾世橋の一部の地区では令和3年度から被害が減少しています。

具体的な対策方法を教えてください

今年度の新規ほ場では電気柵を設置せず、畦畔を徹底的に管理しました。6〜7月に除草を実施し、除草後の草は、田んぼ内に入れ、イノシシが寄り付くミミズの発生防止と肥料として活用しました。また、田んぼの外側に作付けしないスペースを設け、そこに除草した草を入れるようにしています。さらに8月は畦畔に除草剤を散布し、除草管理を徹底しました。作付け面積を減らしていますが、収量を大きく減少させずに対策できました。



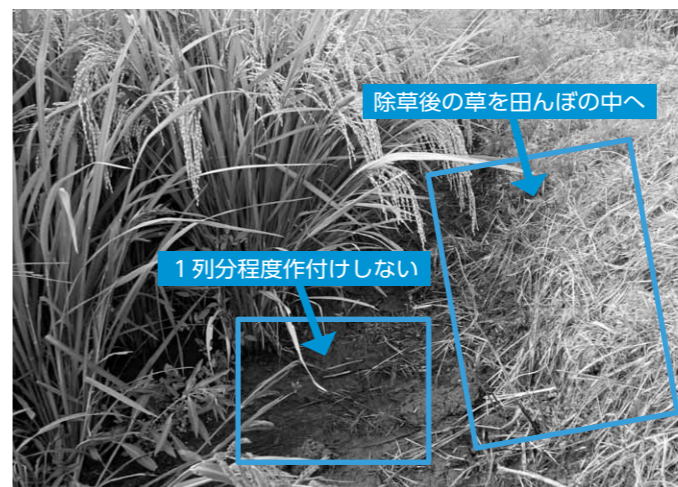
畦畔が管理された収穫前のほ場

今後の意気込み、伝えたいこと

鳥獣対策を実施しながら農作業省力化の方法を今後も探っていきます。

《農林水産係から一言》
あえて防護柵を使わない方法で、チャレンジ精神を感じる素晴らしい対策でした。

※町内全域でイノシシ被害がなくなっているわけではありません。既設の柵を取り外す場合は農林水産課までご相談ください。



除草後の草を田んぼの中へ

1列分程度作付けしない

農林水産課の有害鳥獣対策を紹介

防護柵の貸与 (出荷を目的とした農地に限る)

追い払い花火の配布

鳥獣被害に関する勉強会

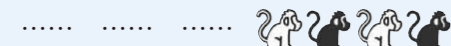


町ホームページでもご覧いただけます



町では有害鳥獣対策に取り組む皆さんをサポートしていきます。

皆さんの鳥獣対策がありましたら、ぜひお話しをお聞かせください。



農林水産課農林水産係
0240(34)0246